



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 前田工織株式会社 上場取引所 東
コード番号 7821 URL <https://www.maedakosen.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 前田 尚宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 斉藤 康雄 TEL 0776-51-3535
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	15,659	13.6	3,632	33.9	3,347	22.9	2,294	23.4
2024年6月期第1四半期	13,779	11.9	2,712	29.2	2,724	24.3	1,860	22.7

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 1,766百万円(△12.2%) 2024年6月期第1四半期 2,012百万円(16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	33.75	33.69
2024年6月期第1四半期	30.64	27.30

(注) 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	78,614	63,540	80.7
2024年6月期	80,243	62,522	77.8

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 63,472百万円 2024年6月期 62,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	-	20.00	-	22.00	42.00
2025年6月期	-	-	-	-	-
2025年6月期(予想)	-	11.00	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注) 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年6月期(予想)については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	9.0	6,000	6.0	6,000	9.6	4,200	11.7	61.77
通期	60,000	7.5	11,200	4.3	11,200	△0.3	7,700	△3.5	113.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期1Q	68,080,612株	2024年6月期	68,080,612株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	82,686株	2024年6月期	82,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期1Q	67,997,926株	2024年6月期1Q	60,717,906株

(注) 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復や雇用及び所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きがみられたほか、好調な企業業績を背景に企業の設備投資も増加基調で推移しており、緩やかな景気回復が続きました。その一方で、長期化するウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化などの地政学リスクに伴う原材料・エネルギー価格の高騰や、各国の金融・財政政策の影響を受けた為替相場の変動等により、国内景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、2018年の創業100周年を機に、企業メッセージ「前田工織は混ぜる会社です」を掲げております。このメッセージで示すとおり、グループの持つあらゆる経営資源を「混ぜる」ことでイノベーションを起こし、持続的成長を遂げていく考えです。

また、当社グループの成長戦略の具体策として、2019年11月に中長期ビジョンである『グローバルビジョン∞』を公表いたしました。この実現に向けた施策として「①既存事業の強化と新規事業進出」「②M&A活用による事業領域拡大」「③グローバルネットワーク拡充」「④ESG+H（※2024年6月期より追加）」を掲げております。

これら施策を遂行するため、既存事業については、生産能力の増強や付加価値の高い製品・工法の研究開発を目的とした設備投資を積極的に行っております。また、既存の事業領域の枠に捉われず、新規事業分野にも積極的に取り組むため、M&Aの実践を継続するとともに、これまでのM&Aで培った実績とノウハウを活用しながら、事業シナジーの創出を目指した投資育成事業も推進しております。さらに、国内外の技術や販売ネットワークを活用し、グローバルに展開していくことで、当社グループ製品の市場拡大を目指しております。

2023年8月に公表した新中期経営計画グローバルビジョン∞「PART II」（2024年6月期～2027年6月期）では、最終年度となる2027年6月期には、売上高700億円、営業利益120億円を実現する見通しです。

(単位：百万円)

	2023年6月期 (実績)	2024年6月期 (実績)	2025年6月期 (計画)	2027年6月期 (計画)
売上高	50,204	55,833	60,000	70,000
営業利益	8,493	10,736	11,200	12,000
E B I T D A	11,682	14,106	14,500	15,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,258	7,979	7,700	8,000

PART II では、当社グループ事業における成長分野への投資として、4か年で約150億円の設備投資を計画しており、旺盛な需要に対応した生産能力の増強や、生産ラインの自動化・省力化を進めております。M&Aについては、4か年で約200億円の投資枠を設定し、既存事業とのシナジーや事業領域の拡大を狙った案件をターゲットに成長を加速させてまいります。また、当社グループ事業のグローバル展開として、2027年6月期の当社グループにおける海外売上比率を30%まで引き上げることを目標としております。

さらに、人的資本への投資を強化し、継続的な賃上げや教育研修制度の充実化を図るほか、健康経営の推進にも積極的に取り組むことで、社員エンゲージメント向上を目指してまいります。

このように、当社グループは、モノづくりを通じて、「私たちは 独自の知恵と技術で 持続可能な地球 そして安心・安全で豊かな社会を創るために 貢献してまいります。」という経営理念を実践し、さらに世の中から必要とされる企業となるよう努力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は15,659百万円（前年同期比13.6%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は3,632百万円（同33.9%増）、経常利益は3,347百万円（同22.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,294百万円（同23.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ソーシャルインフラ事業)

当社の公共工事業においては、一部納入遅れが生じていた盛土補強材の販売が回復したほか、河川護岸材、海洋土木製品、景観資材の販売が堅調に推移しました。利益面においては、製造原価の削減を進めたことに加え、原材料価格の高騰に対応した販売価格への転嫁も徐々に進んだことから、順調に推移しました。不織布関連の製品は、スパンボンド(連続長繊維不織布)の自動車資材向け販売が回復傾向にあるほか、医療・衛生資材の受注が堅調に推移した結果、売上は前年同期を上回ったものの、利益面では価格改定時期の遅れ等により厳しい結果となりました。

獣害対策製品、園芸用ハウス、農業資材を取り扱う子会社の未来のアグリ株式会社においては、獣害対策製品の受注は堅調に推移したものの、園芸用ハウスや酪農用製品などの農業資材の受注が伸び悩んだことにより、売上・利益とも前年同期を下回る結果となりました。また、天幕や帆布生地製品を取り扱う子会社の未来テクノ株式会社では、高利益率の一部大型案件で納入遅れが生じたものの、防衛省向け製品の販売が順調に回復したほか、海洋土木製品の販売が堅調に推移したことから、売上・利益とも前年同期を上回る結果となりました。海外子会社であるMAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.においては、取扱製品の拡充により安定した受注を確保できたことから、売上・利益とも計画に対して堅調に推移しました。

当事業の売上高は8,849百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は2,069百万円(同1.9%増)となりました。

(インダストリーインフラ事業)

自動車用鍛造ホイールを製造・販売する子会社のBBSジャパン株式会社においては、自動車メーカー向けOEM供給やアフター市場向け製品が好調に推移したほか、同社のドイツ子会社BBS Motorsport GmbHの業績が大きく伸長した結果、前年同期と比べ売上が伸長し、利益は大幅に上回る結果となりました。

精密機器製造用ワイピングクロス、衣料・各種産業資材用の丸編製品を製造・加工・販売する子会社の未来コーセン株式会社においては、電力料や仕入れ価格の高騰によるコスト増加の影響があったものの、ワイピングクロスの売上が回復傾向にあることから、売上・利益とも前年同期を上回る結果となりました。

当事業の売上高は6,810百万円(前年同期比31.9%増)、営業利益は1,863百万円(同98.5%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,628百万円減少し78,614百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債権が539百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が247百万円増加したものの、原材料及び貯蔵品が372百万円、現金及び預金が212百万円、流動資産のその他が201百万円、仕掛品が139百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,594百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が1,144百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,646百万円減少し15,073百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,348百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が904百万円、未払法人税等が464百万円、流動負債のその他が419百万円、賞与引当金が335百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ298百万円減少いたしました。これは主に、リース債務が176百万円、長期借入金が137百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,018百万円増加し63,540百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,546百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年8月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,431	21,218
受取手形、売掛金及び契約資産	9,314	9,561
電子記録債権	4,828	5,368
商品及び製品	6,882	6,864
仕掛品	2,483	2,343
原材料及び貯蔵品	4,708	4,335
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	—	120
その他	794	593
貸倒引当金	△58	△54
流動資産合計	50,384	50,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,039	15,550
減価償却累計額	△6,475	△6,456
建物及び構築物(純額)	9,564	9,093
機械装置及び運搬具	23,360	23,208
減価償却累計額	△15,806	△16,097
機械装置及び運搬具(純額)	7,553	7,111
土地	4,334	4,276
リース資産	5,014	5,014
減価償却累計額	△1,820	△1,958
リース資産(純額)	3,194	3,056
建設仮勘定	102	104
その他	4,163	4,067
減価償却累計額	△3,398	△3,341
その他(純額)	764	726
有形固定資産合計	25,513	24,368
無形固定資産		
ソフトウェア	194	185
ソフトウェア仮勘定	4	9
商標権	460	448
その他	764	632
無形固定資産合計	1,425	1,276
投資その他の資産		
投資有価証券	857	924
関係会社長期貸付金	120	—
繰延税金資産	998	780
その他	943	914
投資その他の資産合計	2,919	2,619
固定資産合計	29,858	28,263
資産合計	80,243	78,614

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,924	1,862
電子記録債務	2,298	1,393
1年内返済予定の長期借入金	399	367
未払金	1,765	1,634
リース債務	640	641
未払法人税等	2,083	1,619
賞与引当金	1,032	697
その他	1,855	1,435
流動負債合計	12,000	9,652
固定負債		
長期借入金	635	498
長期未払金	612	612
リース債務	3,226	3,050
繰延税金負債	27	37
役員退職慰労引当金	37	38
退職給付に係る負債	1,132	1,138
その他	46	46
固定負債合計	5,719	5,421
負債合計	17,720	15,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,422	6,422
資本剰余金	7,711	7,711
利益剰余金	46,711	48,258
自己株式	△107	△107
株主資本合計	60,737	62,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	360
為替換算調整勘定	1,338	768
退職給付に係る調整累計額	62	59
その他の包括利益累計額合計	1,717	1,188
新株予約権	68	68
純資産合計	62,522	63,540
負債純資産合計	80,243	78,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,779	15,659
売上原価	8,661	9,505
売上総利益	5,117	6,154
販売費及び一般管理費	2,405	2,522
営業利益	2,712	3,632
営業外収益		
受取利息	1	41
有価証券利息	3	—
受取配当金	2	3
為替差益	64	—
受取補償金	—	96
固定資産売却益	—	196
その他	12	10
営業外収益合計	84	348
営業外費用		
支払利息	62	22
為替差損	—	597
固定資産除却損	1	6
その他	9	5
営業外費用合計	73	632
経常利益	2,724	3,347
税金等調整前四半期純利益	2,724	3,347
法人税、住民税及び事業税	476	845
法人税等調整額	387	207
法人税等合計	863	1,052
四半期純利益	1,860	2,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,860	2,294

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,860	2,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	44
繰延ヘッジ損益	△50	—
為替換算調整勘定	△1	△570
退職給付に係る調整額	△0	△2
その他の包括利益合計	151	△528
四半期包括利益	2,012	1,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,012	1,766

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	8,618	5,161	13,779	—	13,779
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	1	3	△3	—
計	8,620	5,162	13,782	△3	13,779
セグメント利益	2,031	938	2,970	△258	2,712

(注) 1. セグメント利益の調整額△258百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	8,849	6,810	15,659	—	15,659
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	0	2	△2	—
計	8,851	6,810	15,662	△2	15,659
セグメント利益	2,069	1,863	3,933	△301	3,632

(注) 1. セグメント利益の調整額△301百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	764百万円	812百万円